

事務処理に使用しますので、上の部分（約三分の1）には何も記入しないでください。

・現在の免許証番号と現在の免許年月日は、新規申請では空欄で提出してください。
・更新申請では、5年前に受領した免許証の番号と免許年月日をそのまま記入してください。

宅地建物取引業免許申請書

1. 新規申請 2. 更新申請

現在の免許証番号

福岡県知事 (2) 第 1号

現在の免許年月日

平成 25年 6月 1日

商号又は名称

福岡県不動産株式会社

代表者氏名

代表取締役 福岡 太郎

事務所所在地

福岡市東区箱崎1丁目18番1号
カスヤ・ソーゴービル 301号室

事務所の電話番号

(〇〇〇) 〇〇〇 - 〇〇〇〇

本庁受付印

主要県土整備受付印

県土整備

法人の事務所所在地は、「法人登記事項証明書」の本店所在地を記入してください。
個人の事務所は、「添付書類(5)事務所を使用する権原に関する書面」の所在地を記載してください。

ビル等の建物の名称、階数、部屋番号(号室)は、できるだけ記載してください。

免許申請書

(第一面)

宅地建物取引業法第4条第1項の規定により、同法第3条第1項の免許を申請します。
この申請書及び添付書類の記載事項は、事実と相違ありません。

平成30年4月1日

九州地方整備局長
福岡県知事 殿

- ・法人の所在地は「法人登記事項証明書」の本店所在地を記入してください。
- ・ビル等の建物の名称、部屋番号は、できるだけ記入してください。

- ・氏名の漢字は、原則として、「身分証明書」記載の漢字を記入してください。
- ・パソコンに入っていない漢字は、手書きで記入してください。

申請者 商号又は名称 福岡県不動産株式会社

- ・不要の宛先は消してください。

郵便番号 (〇〇〇 - 〇〇〇〇)

- ・法人申請では、役職名も記入してください。

主たる事務所の

所在地 福岡市東区箱崎1丁目18番1号
カスヤ・ソーゴービル301号室

氏 名 代表取締役 福岡 太郎

(法人にあつては、代表者の氏名)

- ・電話は事務所専用の固定電話(携帯電話は不可)です。
- ・ファクシミリは、あれば記入してください。

電話番号 (〇〇〇) 〇〇〇 - 〇〇〇〇

ファクシミリ番号 (〇〇〇) 〇〇〇 - 〇〇〇〇

- ・免許証番号と有効期間は、新規申請は空欄、更新申請は記入してください。(例の「40」は福岡県知事のコード)

受付番号

※ [] [] [] [] [] [] [] [] [] []

受付年月日

※ [] [] [] [] [] [] [] [] [] []

申請時の免許証番号

40 (2) [] [] [] [] [] [] [] [] [] []

- ・免許換え申請以外は空欄です。

(有効期間: 平成25年 6月 2日 ~ 平成30年 6月 1日)

免許の種類

- 新規
- 免許換え新規
- 更新

3

免許換え後の
免許権者コード

[] [] [] [] [] [] [] [] [] []

- ・新規は1、更新は3を記入してください。

※ 免許証番号	国土交通大臣 () 第	号
※ 免許年月日	年 月 日	
※ 有効期間	年 月 日から	年 月 日まで

項番

◎ 商号又は名称

11

フリガナ	フクオカケンフトウサンカブシキカイ	法人・個人の別
フリガナ	シヤ	1 法人
商号又は名称	福岡県不動産株式会社	2 個人

1

- ・(株)と略さずに記入してください。

- ・濁点も1マス分とってください。

◎ 代表者又は個人に関する事項

12

役名コード	01	登録番号	[] [] [] [] [] [] [] [] [] []
フリガナ	フクオカ	氏名	福岡太郎
氏名	福岡太郎	生年月日	S - 30年 01月 01日

- ・姓名の間は1マス空けてください。

- ・宅地建物取引士の登録があれば、右詰めで番号を記入してください。

- ・代取は「01」です。(その他は備考の頁を参照)
- ・個人申請では空欄です

- ・生年月日は右詰めで記入し、空欄には「0」で埋めてください。

宅地建物取引業以外に行っている事業がある場合にはその種類

◎ 所属している不動産業関係業界団体がある場合にはその名称

13

兼業コード	11	不動産賃貸業
兼業コード	12	不動産管理業
◎ 資本金 ()	100000	

所属団体コード	04
---------	----

(公社) 全国宅地建物取引協会連合会 (加入: 13年 6月 1日)

- 所属団体コードの例 (詳細は備考の頁を参照)
- ・(公社) 全国宅地建物取引協会連合会の会員協会 (鳩マーク) は「04」。
- ・(公社) 全日本不動産協会 (うさぎマーク) は「05」。
- ・新規申請や、未加入は「50」。

- ・法人は右詰めで記入してください。個人申請は空欄です。

- ・兼業している事業があれば、主なものを3つまで記入してください (兼業がない場合は「50」 (詳細は備考の頁を参照))。
- 兼業コードの例 建設業「05」、運輸・通信業「08」、卸売・小売・飲食業「09」、金融・保険業「10」、サービス業「13」

(第二面) ※個人は提出不要です。法人は該当なしでも提出してください。

1 2 0

役名コードの例
代表取締役「01」
取締役「02」
監査役「03」
その他は備考の頁を参照

申請時の免許証番号

()

・新規は空欄です。更新は記入してください。

・第一面に記入した代表者は記入しないでください。
・代表者の他に役員がない場合には、白紙で提出してください。

項番 ◎ 役員に関する事項 (法人の場合)

21	役名コード	0 2	登録番号	4 0	—	0 0 1 0 0 0	—	・空欄です。
	フリガナ	フクオカ	イチロウ					
	氏名	福岡	一郎					・宅地建物取引士の登録があれば、右詰めで番号を記入してください。
	生年月日	S—	4 0	年	0 1	月	0 1	日

・例の「40」は福岡県知事のコード。

・濁点や半濁点は1マス分です。

・生年月日は右詰めで記入し、空欄には「0」で埋めてください。

21	役名コード	0 2	登録番号		—		—	
	フリガナ	イツカ	ハチロウ					
	氏名	飯塚	八郎					
	生年月日	S—	5 0	年	0 1	月	0 1	日

確認欄

※

21	役名コード		登録番号		—		—	
	フリガナ							
	氏名							
	生年月日			年		月		日

21	役名コード		登録番号		—		—	
	フリガナ							
	氏名							
	生年月日			年		月		日

確認欄

※

21	役名コード		登録番号		—		—	
	フリガナ							
	氏名							
	生年月日			年		月		日

確認欄

※

受付番号 ※

申請時の免許証番号 4 0 (2) 0 0 0 0 0 0 1

・事務所が複数ある場合には、事務所ごとに用紙を作成してください。

・新規は空欄です。更新は記入してください。

項番

30

事務所の別	1	1. 主たる事務所 2. 従たる事務所	※ 事務所コード			
事務所の名称	本店					

・主たる事務所の名称は、「本店」と記入してください。
 ・従たる事務所がある場合には、支店用の用紙に記入してください。

◎ 事務所に関する事項

31

郵便番号	8	1	2	—	8	5	7	7	
所在地市区町村コード	4	0	1	3	1	5	福岡 都道府県 福岡 (市) 郡区 東 (町) 村		
所在地	箱崎 1 — 1 8 — 1 カスヤ・ソーゴビル 3 0								
電話番号	9	2	—	6	4	3	—	3	7
従事する者の数	1	1							

・県・市町村・郡区までを記入してください。

・携帯電話は不可です。

・県・市町村・郡区以下を、上段から左詰めで記入してください。
 ・法人事務所は、「法人登記事項証明書」の本店所在地を記入してください。
 ・個人事務所は、「添付書類（５）事務所を使用する権原に関する書面」の所在地を記入してください。
 ・「丁目」「番」「号」は「—」で省略してください。
 ・ビル等の建物の名称、部屋番号はできるだけ記入してください。

◎ 政令第2条の2で定める使用人に関する事項

32

登録番号								
フリガナ								

・従たる事務所は必ず記入してください。
 ・本店でも、代表者が常勤できない場合には記入してください。

・「添付書類（３）専任の宅地建物取引士設置証明書」の人数、「添付書類（８）宅地建物取引業に従事する者の名簿」の人数と合致させてください。

確認欄 ※

◎ 専任の宅地建物取引士に関する事項

41

登録番号	4	0	—	0	0	1	0	0	0		
フリガナ	フクオカ イチロウ										
氏名	福岡 一郎										
生年月日	S	—	4	0	年	0	1	月	0	1	日

・登録番号は右詰めで記入してください。
 （例の「40」は福岡県知事の登録）

確認欄 ※

・生年月日は右詰めで記入し、空欄には「0」で埋めてください。

41

登録番号	4	0	—	0	0	0	1	0	1		
フリガナ	ムナカタ シロウ										
氏名	宗像 四郎										
生年月日	S	—	6	0	年	0	1	月	0	1	日

確認欄 ※

41

登録番号	4	0	—	0	0	0	1	1	1		
フリガナ	マエハル ハナコ										
氏名	前原 花子										
生年月日	S	—	6	0	年	0	1	月	0	1	日

確認欄 ※

41

登録番号									
フリガナ									
氏名									
生年月日									

確認欄 ※

支店がある場合の例 (第三面)

1 3 0

受付番号 申請時の免許証番号

・事務所が複数ある場合には、事務所ごとに用紙を作成してください。

・新規は空欄です。更新は記入してください。

項番 30

事務所の別 2 1. 主たる事務所 2. 従たる事務所 ※事務所コード

事務所の名称 北九州支店

◎ 事務所に関する事項

31 郵便番号 807-0831

所在地市区町村コード 401099 福岡都道府県 北九州(市)郡区 八幡西(町)村

・携帯電話は不可です。

所在地 則松3-7-1 ヤハタビル 201

電話番号 93-691-2791

従事する者の数 2

・従たる事務所は必ず記入してください。

・県・市町村・郡区以下を、上段から左詰めで記入してください。・「丁目」「番」「号」は「-」で省略してください。・ビル等の建物の名称、部屋番号はできるだけ記入してください。

◎ 政令第2条の2で定める使用人に関する事項

32 登録番号

フリガナ ヤハタカス"オ

氏名 八幡和夫

生年月日 S-50年05月01日

・「添付書類(3)専任の宅地建物取引士設置証明書」の人数、「添付書類(8)宅地建物取引業に従事する者の名簿」の人数と合致させてください。

◎ 専任の宅地建物取引士に関する事項

41 登録番号 40-001100

フリガナ ケイチク イチロウ

氏名 京築 一郎

生年月日 S-60年03月01日

・登録番号は右詰めで記入してください。(例の「40」は福岡県知事の登録)

・生年月日は右詰めで記入し、空欄には「0」で埋めてください。

41 登録番号

フリガナ

氏名

生年月日

41 登録番号

フリガナ

氏名

生年月日

41 登録番号

フリガナ

氏名

生年月日

・専任の宅建士が5人以上いる場合に記入してください。

1 4 0

受付番号

申請時の免許証番号

※

--	--	--	--	--

		()						
--	--	------	--	--	--	--	--	--

項番

30

事務所の名称

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※ 事務所コード

--	--	--	--

・主たる事務所の名称は、「本店」と記入してください。
・従たる事務所がある場合には、支店用の用紙に記入してください。

◎ 専任の宅地建物取引士に関する事項（続き）

41

登録番号			—						—			
フリガナ												
氏名												
生年月日			—			年			月			日

確認欄
※

41

登録番号			—						—			
フリガナ												
氏名												
生年月日			—			年			月			日

確認欄
※

41

登録番号			—						—			
フリガナ												
氏名												
生年月日			—			年			月			日

確認欄
※

41

登録番号			—						—			
フリガナ												
氏名												
生年月日			—			年			月			日

確認欄
※

41

登録番号			—						—			
フリガナ												
氏名												
生年月日			—			年			月			日

確認欄
※

41

登録番号			—						—			
フリガナ												
氏名												
生年月日			—			年			月			日

確認欄
※

備考

1 各面共通事項

- ① 申請者は、※印の欄には記入しないこと。
- ② 「申請時の免許証番号」の欄は、免許換え新規又は更新の場合にのみ記入すること。この場合、免許権者については、下表より該当するコードを記入すること。ただし、免許権者が北海道知事である場合には、51～64のうち該当するコードを記入すること。

・各都道府県知事のコード

(記入例) (5) [国土交通大臣 (5) 第100号の場合]

00	国土交通大臣	16	富山県知事	32	島根県知事	51	北海道知事 (石狩)
		17	石川県知事	33	岡山県知事	52	北海道知事 (渡島)
02	青森県知事	18	福井県知事	34	広島県知事	53	北海道知事 (檜山)
03	岩手県知事	19	山梨県知事	35	山口県知事	54	北海道知事 (後志)
04	宮城県知事	20	長野県知事	36	徳島県知事	55	北海道知事 (空知)
05	秋田県知事	21	岐阜県知事	37	香川県知事	56	北海道知事 (上川)
06	山形県知事	22	静岡県知事	38	愛媛県知事	57	北海道知事 (留萌)
07	福島県知事	23	愛知県知事	39	高知県知事	58	北海道知事 (宗谷)
08	茨城県知事	24	三重県知事	40	福岡県知事	59	北海道知事 (網走)
09	栃木県知事	25	滋賀県知事	41	佐賀県知事	60	北海道知事 (胆振)
10	群馬県知事	26	京都府知事	42	長崎県知事	61	北海道知事 (日高)
11	埼玉県知事	27	大阪府知事	43	熊本県知事	62	北海道知事 (十勝)
12	千葉県知事	28	兵庫県知事	44	大分県知事	63	北海道知事 (釧路)
13	東京都知事	29	奈良県知事	45	宮崎県知事	64	北海道知事 (根室)
14	神奈川県知事	30	和歌山県知事	46	鹿児島県知事		
15	新潟県知事	31	鳥取県知事	47	沖縄県知事		

- ③ 「役名コード」の欄は、下表より該当する役名のコードを記入すること。

- ア 個人の場合には記入しないこと。
- イ 代表取締役が複数存在するときには、そのすべての者について「01」を記入すること。
- ウ 農業協同組合法等に基づく代表理事の場合には、「01」を記入すること。

・役名コード

01	代表取締役 (株式会社)	04	代表社員 (持分会社)	08	監事	15	会計参与 (株式会社)
02	取締役 (株式会社)	05	社員 (持分会社)	13	代表執行役 (株式会社)	09	その他
03	監査役 (株式会社)	07	理事	14	執行役 (株式会社)		

- ④ 「登録番号」の欄は、宅地建物取引士である場合にのみ、その登録番号を記入すること。この場合、登録を受けている都道府県知事については、上記②の表より該当するコードを記入すること。ただし、北海道知事の登録を受けている場合には、51～64のうち該当するコードを記入すること。また、登録番号に「選考」とある場合にのみ最後の□に「1」を記入すること。

(記入例) [東京都知事登録第000100号の場合]

- ⑤ 氏名の「フリガナ」の欄は、カタカナで姓と名の間に1文字分空けて左詰めで記入し、その際、濁点及び半濁点は1文字として扱うこと。また、「氏名」の欄も姓と名の間に1文字分空けて左詰めで記入すること。
- ⑥ 「生年月日」の欄は、最初の□には下表より該当する元号のコードを記入するとともに、□に数字を記入するに当たっては、空位の□に「0」を記入すること。

(記入例)

H	—	0	1	年	0	8	月	2	3	日
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

M	明 治	S	昭 和
T	大 正	H	平 成

[平成元年8月23日の場合]

- ⑦ 「所在地市区町村コード」の欄は、都道府県の窓口備付けのコードブック（総務省編「全国地方公共団体コード」）により該当する市区町村のコードを記入すること。
- ⑧ 「所在地」の欄は、⑦により記入した所在地市区町村コードによって表される市区町村に続く町名、街区符号、住居番号等を、「丁目」「番」及び「号」をそれぞれ—（ダッシュ）で区切り、上段から左詰めで記入すること。

(記入例)

霞	が	関	2	—	1	—	3		
---	---	---	---	---	---	---	---	--	--

- ⑨ 申請者が未成年者である場合は、法定代理人の同意書を添付すること。

2 第一面関係

- ① 「免許の種類」の欄は、該当する番号を記入すること。
- ② 「免許換え後の免許権者コード」の欄は、「免許の種類」の欄において「2」を記入した場合にのみ、上記1②の表より該当する免許換え後の免許権者のコードを記入すること。この場合、免許換え後の免許権者が北海道知事である場合には51～64のうち該当するコードを記入すること。
- ③ 商号又は名称の「フリガナ」の欄は、カタカナで上段から左詰めで記入し、その際、濁点及び半濁点は1文字として扱うこと。また「商号又は名称」の欄も、上段から左詰めで記入すること。
- ④ 「法人・個人の別」の欄は、該当する番号を記入すること。
- ⑤ 代表者又は個人に関する事項については、法人の場合で代表者が複数存在するときには、申請者である代表者について記入し、その他の者については、第二面の役員に関する事項の欄に記入すること。

例えば、株式会社の場合で代表取締役が複数存在するときには、申請者である代表取締役について記入し、その他の者については、第二面の役員に関する事項の欄に記入すること（第二面であっても代表取締役の役名コードは「01」を記入すること）。

・兼業コード

- ⑥ 「兼業コード」の欄は、下表より該当する事業のコードを記入すること。なお、宅地建物取引業以外に行っている事業がない場合には「50」を記入すること。

01	農 業	05	建 設 業	09	卸売・小売業、 飲食店	13	サービス業
02	林 業	06	製 造 業			14	そ の 他
03	漁 業	07	電気・ガス・ 熱供給・水道業	10	金融・保険業		
04	鉱 業	08	運輸・通信業	11	不動産賃貸業		
				12	不動産管理業		

- ⑦ 「所属団体コード」の欄は、下表より該当する所属団体のコードを記入すること。なお、所属している不動産業関係業界団体がない場合には「50」を記入すること。

01	(一社) マンション管理業協会	10	(一社) 不動産協会
04	(公社) 全国宅地建物取引業協会連合会の 会員である各協会	11	(一社) 不動産流通経営協会
05	(公社) 全日本不動産協会	12	その他
09	(一社) 日本ビルディング協会連合会の会 員である各協会	13	(一社) 全国住宅産業協会又はその会員 である各協会

⑧ 「資本金」の欄は、法人の場合にのみ右詰めで記入すること。

・所属団体コード

3 第二面関係

- ① 第二面は、申請者が法人の場合にのみ記入すること。
- ② 役員に関する事項の欄は、第一面で代表者として記入した者については記入しないこと。
- ③ 第二面に記載しきれない場合は、同じ様式により作成した書面に記載して当該面の次に添付すること。

4 第三面関係

- ① 第三面は、項番 30 の事務所ごとに作成すること。
- ② 「事務所の別」の欄は、該当する番号を記入すること。
- ③ 「電話番号」の欄は、市外局番、市内局番、番号をそれぞれ— (ダッシュ) で区切り、左詰めで記入すること。

(記入例)

0	3	—	5	2	5	3	—	8	1	1	1
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- ④ 「従事する者の数」の欄は、右詰めで記入すること。この場合に、「従事する者」には、営業に従事する者のみならず、宅地建物取引業に係る一般管理部門に所属する者や補助的な事務に従事する者も含めること。
また、申請者が個人である場合において、その家族が宅地建物取引業に従事し、又は従事しようとしているときは、その者についても記入すること。

なお、宅地建物取引業を他の事業と兼業する場合は、宅地建物取引業に従事する者についてのみ記入すること。

5 第四面関係

- ① 「専任の宅地建物取引士に関する事項 (続き)」の欄は、第三面に記載しきれない場合に使用することとし、第三面の次に添付すること。
- ② 第四面は、項番 30 の事務所ごとに作成すること。
- ③ 第四面に記載しきれない場合は、同じ様式により作成した書面に記載して当該面の次に添付すること。

添付書類 (1)
(第一面)

宅建業取引業経歴書

・新規申請では、ここに「新規」とのみ記入し、他の記入は不要です(個人免許から法人免許への切替申請も同じ。期間満了後の新規申請は、記載が必要)
・更新申請は、最初の免許年月日と免許権者を記入してください。

※ 更新申請で、実績が1年以上なかった場合には、以下の3点を記した「理由書」と、「成約に至らなかった取引の一覧表」を添えてください(様式は任意)。

- ①その間、宅建業を営んでいたか
- ②成約に至らなかった取引の事例
- ③今後の宅建業への意気込み、免許を必要とすること

1. 事業

最初の免許	組 織 変 更	
H20年6月1日	H21年6月1日	年
福岡県知事	福岡県不動産(有)から福岡県不動産(株)に商号変更	

・決算の期間を記入してください。ただし最初の免許を受けた時の始期は免許の有効期間の開始日を記入してください。
・2度目以降の更新申請では、個人申請は1月1日、法人申請は事業年度の始期・終期(貸借対照表等を参照)を記入してください。

2. 事業の実績

(注意) ・期間については、個人の場合は暦年(1月1日~12月31日)ごとに、法人の場合は事業年度ごとに、申請直前の5年間を記入してください。
・5年目は「納税証明書」の年度と一致するように作成してください。
・過去5年間で代理・媒介・売買・交換の実績が1年以上ない場合、「理由書(更新申請する理由)」と「未契約事例の一覧表」を添付してください。「理由書」「未契約事例の一覧表」については、様式は問いません。

イ. 代理又は媒介の実績 「価額」は、千円単位で千円未満切捨て。(税込み)

期 間	24年 6月1日から 25年 5月31日までの1年間		25年 6月1日から 26年 5月31日までの1年間		26年 6月1日から 27年 5月31日までの1年間		27年 6月1日から 28年 5月31日までの1年間		28年 6月1日から 29年 5月31日までの1年間		
	種類	売買・交換	貸 借	売買・交換	貸 借	売買・交換	貸 借	売買・交換	貸 借	売買・交換	貸 借
宅 地	件 数	上段は売買の実績 下段は交換の実績 を記載してください。		2		1				5	
	価 額 (千円)			150,000		50,000				250,000	
	手数料 (千円)			3,000 1,500		1,500				7,500	
建 物	件 数			10		20		5			10
	価 額 (千円)										
	手数料 (千円)			1,000		2,000		500			1,000
宅 地 及 び 建 物	件 数										
	価 額 (千円)										
	手数料 (千円)										
合 計	件 数			2 1	10	1	20		5	5	10
	価 額 (千円)			150,000		50,000				250,000	
	手数料 (千円)			3,000 1,500	1,000	1,500	2,000		500	7,500	1,000

・法人申請では、直近の期間が貸借対照表、損益計算書及び納税証明書の期間と一致しているか、必ず確認してください。

(第二面)

ロ. 売買・交換の実績 「価額」は、千円単位で千円未満切捨て。(税込み)

種 類		期 間	24年 6月1日	25年 6月1日	26年 6月1日	27年 6月1日	28年 6月1日	
			から 25年 5月31日 までの1年間	から 26年 5月31日 までの1年間	から 27年 5月31日 までの1年間	から 28年 5月31日 までの1年間	から 29年 5月31日 までの1年間	
売	宅 地	件 数						
		価額(千円)						
	建 物	件 数						
		価額(千円)						
	却	宅地及 び建物	件 数				4	1
			価額(千円)				200,000	50,000
合 計	件 数	0	0	0	4	1		
	価額(千円)	0	0	0	200,000	50,000		
購	宅 地	件 数	3				2	
		価額(千円)	150,000				100,000	
	建 物	件 数		1				
		価額(千円)		50,000				
	入	宅地及 び建物	件 数		1			
			価額(千円)		100,000			
合 計	件 数	3	2	0	0	2		
	価額(千円)	150,000	150,000	0	0	100,000		
交 換	宅 地	件 数						
		価額(千円)						
	建 物	件 数						
		価額(千円)						
	宅地及 び建物	件 数						
		価額(千円)						
合 計	件 数							
	価額(千円)							

・初めての更新申請では、免許の有効期間の開始日(免許年月日の翌日)を記入してください。
 ・2度目以降の更新申請では、個人申請では1月1日、法人申請では事業年度の開始日(貸借対照表等を参照)を記入してください。

・法人申請では、直近の期間が貸借対照表、損益計算書及び納税証明書の期間と一致しているか、必ず確認してください。

備 考

- 1 新規に免許を申請する者は、「最初の免許」の欄に「新規」と記入すること。
- 2 「組織変更」の欄には、合併又は商号若しくは名称の変更について記入すること。
- 3 「期間」の欄には、事業年度を記入すること。
- 4 「売買・交換」の欄には、上段に売買の実績を、下段に交換の実績を記入すること。

添付書類 (2)

誓約書

申請者、申請者の役員、令第2条の2に規定する使用人、
法定代理人及び法定代理人の役員は、法第5条第1項各号に
該当しない者であることを誓約します。

平成30年4月1日

商号又は名称 福岡県不動産株式会社

氏 名 代表取締役 福岡 太郎

法定代理人
商号又は名称
氏 名

・法人申請では、役職名
も記入してください。

・不要の宛は消してください。

~~九州地方整備局長~~
福岡県知事 殿

(注意)

代表者が未成年者の場合には、法定代理人が記名押印してください。

添付書類(3)

専任の宅地建物取引士設置証明書

下記の事務所は、宅地建物取引業法第31条の3第1項に規定する要件を備えていることを証明します。

平成30年4月1日

・不要の宛先は消してください。

~~九州地方整備局長~~
福岡県知事 殿

商号又は名称 福岡県不動産株式会社

・法人申請では、役職名も記入してください。

氏 名 代表取締役 福岡 太郎
(法人にあつては、代表者の氏名)

・主たる事務所の名称は「本店」と記入してください。

記

・専任の宅建士を含めた数です。
・免許申請書(第三面)の「従事する者の数」、「添付書類(8)宅地建物取引業に従事する者の名簿」の人数と合致させてください。

事務所の名称	所在地	専任の宅地建物取引士の数	宅地建物取引業に従事する者の数
本店	福岡市東区箱崎1丁目18番1号	3名	11名
		名	名
		名	名
		名	名

・本店以外の事務所(従たる事務所)があれば記入してください。
・事務所の名称は店舗の名称を記入してください。

(注意)

「宅地建物取引業に従事する者の数」には、代表者も含め、添付書類(8)「宅地建物取引業に従事する者の名簿」の従事者数と一致させてください。

添付書類 (4)

・個人申請では不要です。
 ・法人申請では、相談役や顧問がいなくても添付し、
 相談役や顧問がいれば記入してください。

(A4)

1 5 0

(第一面)

相談役及び顧問 (法人の場合)

受付番号

申請時の免許証番号 ()

項番

51

役名コード	<input type="text"/>	就任年月日	<input type="text"/>	—	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	<input type="text"/>	日	<input type="text"/>
フリガナ	<input type="text"/>										
氏名	<input type="text"/>										
生年月日	<input type="text"/>	—	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	<input type="text"/>	日	<input type="text"/>		
住所市区町村コード	<input type="text"/>		都道府県			市郡区			区町村		
住所	<input type="text"/>										

確認欄
※

51

役名コード	<input type="text"/>	就任年月日	<input type="text"/>	—	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	<input type="text"/>	日	<input type="text"/>
フリガナ	<input type="text"/>										
氏名	<input type="text"/>										
生年月日	<input type="text"/>	—	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	<input type="text"/>	日	<input type="text"/>		
住所市区町村コード	<input type="text"/>		都道府県			市郡区			区町村		
住所	<input type="text"/>										

確認欄
※

51

役名コード	<input type="text"/>	就任年月日	<input type="text"/>	—	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	<input type="text"/>	日	<input type="text"/>
フリガナ	<input type="text"/>										
氏名	<input type="text"/>										
生年月日	<input type="text"/>	—	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	<input type="text"/>	日	<input type="text"/>		
住所市区町村コード	<input type="text"/>		都道府県			市郡区			区町村		
住所	<input type="text"/>										

確認欄
※

51

役名コード	<input type="text"/>	就任年月日	<input type="text"/>	—	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	<input type="text"/>	日	<input type="text"/>
フリガナ	<input type="text"/>										
氏名	<input type="text"/>										
生年月日	<input type="text"/>	—	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	<input type="text"/>	日	<input type="text"/>		
住所市区町村コード	<input type="text"/>		都道府県			市郡区			区町村		
住所	<input type="text"/>										

確認欄
※

- ・個人申請では不要です。
- ・法人申請では、5%以上の株主・出資者を必ず記入してください。

100分の5以上の株式を有する株主又は100分の5以上の額に相当する出資をしている者（法人の場合）

受付番号

申請時の免許証番号

※					
---	--	--	--	--	--

	()				
--	-----	--	--	--	--

項番

52	フリガナ	フ	ク	オ	カ	ケ	ン	ソ	ウ											
	氏名又は名称	福	岡	縣	造															
	生年月日	S	—	1	0	年	0	3	月	0	1	日								
	保有株式の数 (出資金額)	160株 (円)			割	合	80%													
	市区町村コード	4	0	1	3	1	5	福岡	都道府県	福岡	市郡区	東	区町村							
	住所又は所在地	箱	崎	○	—	○	○	—	○	○										

確認欄

※

52	フリガナ	フ	ク	オ	カ	イ	チ	ロ	ウ											
	氏名又は名称	福	岡	一	郎															
	生年月日	S	—	4	0	年	0	1	月	0	1	日								
	保有株式の数 (出資金額)	40株 (円)			割	合	20%													
	市区町村コード	4	0	1	3	1	5	福岡	都道府県	福岡	市郡区	東	区町村							
	住所又は所在地	箱	崎	○	—	○	○	—	○	○										

確認欄

※

52	フリガナ																							
	氏名又は名称																							
	生年月日		—			年			月			日												
	保有株式の数 (出資金額)	株 (円)			割	合	%																	
	市区町村コード													都道府県					市郡区					区町村
	住所又は所在地																							

確認欄

※

52	フリガナ																							
	氏名又は名称																							
	生年月日		—			年			月			日												
	保有株式の数 (出資金額)	株 (円)			割	合	%																	
	市区町村コード													都道府県					市郡区					区町村
	住所又は所在地																							

確認欄

※

備考

1 各面共通関係

- ① この書面は、申請者が法人である場合にのみ記入すること。
- ② 申請者は、※印の欄には記入しないこと。
- ③ 「申請時の免許証番号」の欄は、免許換え新規又は更新の場合にのみ記入すること。この場合、免許権者については、下表より該当するコードを記入すること。ただし、免許権者が北海道知事である場合には、51～64のうち該当するコードを記入すること。

(記入例)

0	0
---	---

 (5)

			1	0	0
--	--	--	---	---	---

 [国土交通大臣 (5) 第100号の場合]

00	国土交通大臣	16	富山県知事	32	島根県知事	51	北海道知事 (石狩)
		17	石川県知事	33	岡山県知事	52	北海道知事 (渡島)
02	青森県知事	18	福井県知事	34	広島県知事	53	北海道知事 (檜山)
03	岩手県知事	19	山梨県知事	35	山口県知事	54	北海道知事 (後志)
04	宮城県知事	20	長野県知事	36	徳島県知事	55	北海道知事 (空知)
05	秋田県知事	21	岐阜県知事	37	香川県知事	56	北海道知事 (上川)
06	山形県知事	22	静岡県知事	38	愛媛県知事	57	北海道知事 (留萌)
07	福島県知事	23	愛知県知事	39	高知県知事	58	北海道知事 (宗谷)
08	茨城県知事	24	三重県知事	40	福岡県知事	59	北海道知事 (網走)
09	栃木県知事	25	滋賀県知事	41	佐賀県知事	60	北海道知事 (胆振)
10	群馬県知事	26	京都府知事	42	長崎県知事	61	北海道知事 (日高)
11	埼玉県知事	27	大阪府知事	43	熊本県知事	62	北海道知事 (十勝)
12	千葉県知事	28	兵庫県知事	44	大分県知事	63	北海道知事 (釧路)
13	東京都知事	29	奈良県知事	45	宮崎県知事	64	北海道知事 (根室)
14	神奈川県知事	30	和歌山県知事	46	鹿児島県知事		
15	新潟県知事	31	鳥取県知事	47	沖縄県知事		

- ④ 「住所市区町村コード」及び「市区町村コード」の欄は、都道府県の窓口備付けのコードブック（総務省編「全国地方公共団体コード」）により該当する市区町村のコードを記入すること。
- ⑤ 「住所」及び「住所又は所在地」の欄は、④により記入した住所市区町村コード及び市区町村コードによって表される市区町村に続く町名、街区符号、住居番号等を、「丁目」、「番」及び「号」をそれぞれ一（ダッシュ）で区切り、上段から左詰めで記入すること。

(記入例)

霞	が	関	2	—	1	—	3	
---	---	---	---	---	---	---	---	--

- ⑥ 第一面又は第二面に記載しきれない場合は、同じ様式により作成した書面に記載して当該それぞれの面の次に添付すること。

2 第一面関係

① 「役名コード」の欄は、下表より該当する役名のコードを記入すること。

11	相談役
12	顧問

② 「就任年月日」及び「生年月日」の欄は、最初の□には下表より該当する元号のコードを記入するとともに、□に数字を記入するに当たっては、空位の□に「0」を記入すること。

(記入例)

H

—

0	1
---	---

年

0	8
---	---

月

2	3
---	---

日
[平成元年8月23日の場合]

M	明治	S	昭和
T	大正	H	平成

③ 氏名の「フリガナ」の欄は、カタカナで姓と名の間に1文字分空けて左詰めで記入し、その際、濁点及び半濁点は1文字として扱うこと。また、「氏名」の欄も姓と名の間に1文字分空けて左詰めで記入すること。

3 第二面関係

① 氏名又は名称の「フリガナ」の欄は、カタカナで左詰めで記入し、濁点及び半濁点は1文字として扱うこと。また、「氏名又は名称」の欄も左詰めで記入すること。なお、株主又は出資者が個人である場合には、姓と名の間に1文字分空けて記入すること。

② 「生年月日」の欄は、株主又は出資者が個人の場合にのみ記入すること。その場合に最初の□には下表より該当する元号のコードを記入するとともに、□に数字を記入するに当たっては、空位の□に「0」を記入すること。

(記入例)

H

—

0	1
---	---

年

0	8
---	---

月

2	3
---	---

日
[平成元年8月23日の場合]

M	明治	S	昭和
T	大正	H	平成

③ 「割合」の欄は、株式会社にあつては該当する株主につき保有株式の発行済株式総数に対する割合を、その他の法人にあつては該当する出資者につき出資金額の出資金総額に対する割合を記入すること。

○市町村コード表

40101	北九州市門司区	40202	大牟田市	40218	春日市	40341	宇美町	40448	東峰村
40103	北九州市若松区	40203	久留米市	40219	大野城市	40342	篠栗町	40503	大刀洗町
40105	北九州市戸畑区	40204	直方市	40220	宗像市	40343	志免町	40522	大木町
40106	北九州市小倉北区	40205	飯塚市	40221	太宰府市	40344	須恵町	40544	広川町
40107	北九州市小倉南区	40206	田川市	40223	古賀市	40345	新宮町	40601	香春町
40108	北九州市八幡東区	40207	柳川市	40224	福津市	40348	久山町	40602	添田町
40109	北九州市八幡西区	40210	八女市	40225	うきは市	40349	粕屋町	40604	糸田町
40131	福岡市東区	40211	筑後市	40226	宮若市	40381	芦屋町	40605	川崎町
40132	福岡市博多区	40212	大川市	40227	嘉麻市	40382	水巻町	40608	大任町
40133	福岡市中央区	40213	行橋市	40228	朝倉市	40383	岡垣町	40609	赤村
40134	福岡市南区	40214	豊前市	40229	みやま市	40384	遠賀町	40610	福智町
40135	福岡市西区	40215	中間市	40230	糸島市	40401	小竹町	40621	荻田町
40136	福岡市城南区	40216	小郡市	40231	那珂川市	40402	鞍手町	40625	みやこ町
40137	福岡市早良区	40217	筑紫野市			40421	桂川町	40642	吉富町
						40447	筑前町	40646	上毛町
								40647	築上町

添付書類(5)

事務所を使用する権原に関する書面

注 更新・新規を問わずこの書面は記入してください。新規の場合のみ併せて賃貸借契約書又は建物登記簿謄本等を添付してください。

項	所有者	事務所の所有者が申請者と異なる場合				
		契約相手	契約日	契約期間	契約形態	用途
・主たる事務所の名称は、「本店」と記入してください。 (事務所名) 本店 (所在地) 福岡市東区箱崎1丁目18番1号(箱崎1801番)	株式会社 粕屋ビルディング	株式会社 粕屋ビルディング	平成19年5月31日	平成19年6月1日～平成22年5月31日(自動更新)	賃貸借	事務所
(事務所名) (所在地)	・本店以外の事務所(従たる事務所)があれば記入してください。 ・事務所名は、店舗の名称を記入してください。				・契約書に自動更新条項があれば、(自動更新)と記入してください。	
(事務所名) (所在地)	新規申請の場合のみ併せて以下の書類を添付してください。 ・借りている場合は契約書(賃貸借・使用貸借) ・所有している場合は建物登記事項証明書(全部事項証明) ・事務所を借りていて、その契約が所有者と直接交わしているものではない場合は、次の①～③の書面の写しをすべて添付(契約相手が所有者の代理人の場合で、代理人であることが②の契約書により明らかに判る場合には②の契約書のみ可。) ①所有者と契約相手との契約書(使用貸借・賃貸借契約書、管理委託契約書等) ②契約相手と免許申請者との契約書 ③所有者が、契約相手と免許申請者との契約(②の契約)を承諾していることがわかる書面 ・居住用マンション等、事務所用ではない建物の場合は、事務所使用ができることを定めた建物管理規約等の写し、または建物の所有者あるいは管理者(管理組合)の事務所として使用できる旨の承諾書 ・自宅の一部を事務所として使用する場合には、平面図及び「当該事務所部分を事務所として専用使用し居住用には使用しない」旨の誓約書 について、事実と相違ないことを誓約します。					
・更新の場合、契約書や登記事項証明書を省略することができますが、これは、権原が前回(新規・更新)と変わらないことが前提です。このため、権原に変更が生じていれば、変更後の契約書や登記事項証明書を添付してください。	平成30年4月1日 商号又は名称 福岡県不動産株式会社 氏名 代表取締役 福岡 太郎					

備考

- 「所有者」の欄は、事務所の所有者の氏名又は法人名(法人の代表者名を含む。)を記入すること。
- 「事務所の所有者が申請者と異なる場合」の欄は、事務所の所有者が免許申請者と異なる場合にのみ次により記入すること。
 - 「契約形態」の欄は、賃貸借又は使用貸借の別を記入すること。
 - 「用途」の欄は、登記事項証明書、建物賃貸借契約書又は建物使用貸借契約書等に記載された用途(住居、事務所等)について記入すること。
 - 「契約相手」の欄は、申請者が賃貸借契約等を締結している契約の相手方を記入してください。
 - 所在地の記載は表紙及び第三面等と同一ですが、それが住居表示ならば土地表示を()書きで併記してください。住居表示の定めのない市町村では、土地表示のみを記入してください。

代表者、役員、政令使用人等の例

添付書類(6)

該当する数字に○印をつけてください。

- 1. 代表者
- 2. 役員(取締役・監査役)
- 3. 法人の相談役・顧問

4. 専任の宅地建物取引士

の略歴書

・常勤の場合、通勤可能な住所であることが必要です。
 (居所の場合、二段書きして居住の分かる資料を添付(賃貸契約の写し等))

・電話番号は事務所のものと同一とならないようにしてください。

住所	大分県大分市〇〇-〇〇 居所：福岡市東区箱崎〇-〇〇			電話番号(〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇	
(フリガナ)氏名	フクオカ タロウ 福岡 太郎	生年月日	昭和30年 1月 1日		
職名	代表取締役(常勤)	登録番号	福岡第〇〇〇〇〇号		
職歴	期 間	従事した職務内容			
	自 至	平成19年 4月 1日 平成21年 3月 31日	〇〇リアルエステート(株) 勤務(営業)		
	自 至	平成21年 4月 1日 平成21年 5月 31日	無職		
	自 至	平成21年 6月 1日 平成22年 5月 31日	福岡県不動産(有) 代表取締役		
	自 至	平成22年 6月 1日 年 月 日	福岡県不動産(株) 代表取締役 現在に至る		
	自 至	年 月 日 年 月 日			
	自 至	年 月 日 年 月 日			
	自 至	年 月 日 年 月 日			
	自 至	年 月 日 年 月 日			
	自 至	年 月 日 年 月 日			
	自 至	年 月 日 年 月 日			
	自 至	年 月 日 年 月 日			

・空白期間がないように記入してください。

申請業者における職名を記入してください。
 必ず常勤・非常勤の別を記入してください。

・取引士の資格登録があれば記入してください。

職に就いてない期間も記入してください。

上段：就職又は就任年月日
 下段：退職又は退任年月日

「現在に至る」を必ず記入してください。

代表者、政令使用人の場合、兼務があれば非常勤の職歴には(非常勤)と明記してください。
 兼務が別法人の非常勤の代表者である場合には、勤務先からの非常勤証明書を添付してください。

記載年月日を記入してください。

上記のとおり相違ありません。

平成30年3月31日 氏名 福岡 太郎

(注意)

1. 「職名」は、代表者・取締役・監査役・専任の宅地建物取引士等を記入してください。
2. 「職歴」は、過去10年以内の職歴を申請時まで記入してください。無職期間も記入してください。
 「従事した職務の内容」は、現在に至るまでの会社名と勤務内容(営業・経理・総務等)を記入してください。
 役員で非常勤の場合は、「従事した職務の内容」にその旨、記入してください。
3. 「職歴書」が足りない場合、必要数コピーして使用してください。

専任取引士の例

添付書類(6)

該当する数字に○印をつけてください。

- 1. 代表者
- 2. 役員(取締役・監査役等)
- 3. 法人の相談役・顧問
- 4. 専任の宅地建物取引士
- 5. 政令で定める使用人(支店長等)

の略歴書

同一人が二つ以上の役職を

・常勤の場合、通勤可能な住所である必要があります。

・電話番号は事務所のものと同一とならないようにしてください。

住所	福岡市博多区〇〇-〇〇-〇〇			電話番号(〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇
(フリガナ)氏名	フクオカ イチロウ 福岡 一郎	生年月日	昭和30年 1月 1日	
職名	専任取引士	登録番号	福岡第〇〇〇〇〇号	
職歴	期 間	従事した職務内		
	自 平成19年 4月 1日	〇〇不動産販売(株) 勤務(営業)		
	至 平成25年 4月 30日			
	自 平成25年 5月 1日	(株)北九州県土不動産		
	至 平成27年 3月 31日			
	自 平成27年 4月 1日	無職		
	至 平成27年 5月 31日			
	自 平成27年 6月 1日	福岡県土不動産 代表者		
	至 平成28年 1月 21日			
	自 平成28年 1月 22日	福岡県不動産(株) 専任取引士		
	至 年 月 日	現在に至る		
	自 年 月 日			
	至 年 月 日			
自 年 月 日				
至 年 月 日				
自 年 月 日				
至 年 月 日				

・空白期間がないように記入してください。

申請業者における職名を記入してください。

・取引士の資格登録を記入してください。

上段：就職又は就任年月日
下段：退職又は退任年月日

職に就いてない期間も記入してください。

「現在に至る」を必ず記入してください。

専任の宅建士の場合、兼務があれば非常勤の職歴には(非常勤)と明記し、勤務先からの非常勤証明書を添付してください。

記載年月日を記入してください。

上記のとおり相違ありません。

平成30年3月31日

氏名 福岡 一郎

(注意)

1. 「職名」は、代表者・取締役・監査役・専任の宅地建物取引士等を記入してください。
2. 「職歴」は、過去10年以内の職歴を申請時まで記入してください。無職期間も記入してください。「従事した職務の内容」は、現在に至るまでの会社名と勤務内容(営業・経理・総務等)を記入してください。役員で非常勤の場合は、「従事した職務の内容」にその旨、記入してください。
3. 「職歴書」が足りない場合、必要数コピーして使用してください。

添付書類(7)

個人免許申請の場合に必要です。
(法人申請の場合は不要)

資産に関する調書

29年 4月 1日現在

資 産	価 格	摘 要
資 産		
現金預金	2,500,000	
有価証券	0	
未収入金	0	
土 地	20,000,000	申請者が時価で見積もって 記入してください。
建 物	2,500,000	
備 品	2,500,000	
権 利	0	
そ の 他	0	
計	27,500,000	
負 債		
借入金	0	
未払金	0	
預り金	0	
前受金	0	
そ の 他	0	
計	0	

車

車は、備品又はその他
に記載してください。

備 考

- 1 この調書は、個人の業者のみが記入すること。
- 2 「権利」とは、営業権、地上権、電話加入権その他の無形固定資産をいう。

備考

- ① この書面は、事務所ごとに作成すること。
- ② 申請者は、※印の欄には記入しないこと。
- ③ 「申請時の免許証番号」の欄は、免許換え新規又は更新の場合にのみ記入すること。この場合、免許権者については、下表より該当するコードを記入すること。ただし、免許権者が北海道知事である場合には、51～64のうち該当するコードを記入すること。

(記入例)

0	0
---	---

 (5)

			1	0	0
--	--	--	---	---	---

 [国土交通大臣 (5) 第100号の場合]

00	国土交通大臣	16	富山県知事	32	島根県知事	51	北海道知事 (石狩)
		17	石川県知事	33	岡山県知事	52	北海道知事 (渡島)
02	青森県知事	18	福井県知事	34	広島県知事	53	北海道知事 (檜山)
03	岩手県知事	19	山梨県知事	35	山口県知事	54	北海道知事 (後志)
04	宮城県知事	20	長野県知事	36	徳島県知事	55	北海道知事 (空知)
05	秋田県知事	21	岐阜県知事	37	香川県知事	56	北海道知事 (上川)
06	山形県知事	22	静岡県知事	38	愛媛県知事	57	北海道知事 (留萌)
07	福島県知事	23	愛知県知事	39	高知県知事	58	北海道知事 (宗谷)
08	茨城県知事	24	三重県知事	40	福岡県知事	59	北海道知事 (網走)
09	栃木県知事	25	滋賀県知事	41	佐賀県知事	60	北海道知事 (胆振)
10	群馬県知事	26	京都府知事	42	長崎県知事	61	北海道知事 (日高)
11	埼玉県知事	27	大阪府知事	43	熊本県知事	62	北海道知事 (十勝)
12	千葉県知事	28	兵庫県知事	44	大分県知事	63	北海道知事 (釧路)
13	東京都知事	29	奈良県知事	45	宮崎県知事	64	北海道知事 (根室)
14	神奈川県知事	30	和歌山県知事	46	鹿児島県知事		
15	新潟県知事	31	鳥取県知事	47	沖縄県知事		

- ④ 「宅地建物取引業に従事する者」には、営業に従事する者のみならず、宅地建物取引業に係る一般管理部門に所属する者や補助的な事務に従事する者も含めること。

また、申請者が個人である場合において、その家族が宅地建物取引業に従事し、又は従事しようとしているときは、その者についても記入すること。

なお、宅地建物取引業を他の事業と兼業する場合は、宅地建物取引業に従事する者についてのみ記入すること。

- ⑤ 「氏名」の欄は、姓と名の間に1文字分空けて左詰めで記入すること。
- ⑥ 「生年月日」の欄は、最初の□には下表より該当する元号のコードを記入するとともに、□に数字を記入するに当たっては、空位の□に「0」を記入すること。

(記入例)

H

 —

0	1
---	---

 年

0	8
---	---

 月

2	3
---	---

 日

[平成元年8月23日の場合]

M	明治	S	昭和
T	大正	H	平成

- ⑦ 「性別」の欄は、該当する番号を○で囲むこと。
- ⑧ 「従業者証明書番号」の欄は、法第48条第1項の証明書の番号を記入すること。なお、新規の免許の申請の場合には、あらかじめ同項の証明書の番号を定め、その番号を記入すること。
- ⑨ 宅地建物取引士である場合については、[]内に登録番号を記入し、このうち専任の宅地建物取引士である者については、[]の前に○印を付けること。

(記入例)

○

 [(東京) 000100] [東京都知事登録第000100号である専任の宅地建物取引士の場合]

- ⑩ この書面に記載しきれない場合は、同じ様式により作成した書面に記載して当該面の次に添付すること。

添 付 書 類 (9)

宅地建物取引士証の写し

貼 付 欄

宅地建物取引士証	
	氏名 福岡 一郎 (昭和40年1月1日生)
	住所 福岡市東区箱崎 〇-〇-〇
	登録番号 (福岡) 第〇〇〇〇号
	登録年月日 平成〇年〇月〇日
平成〇年〇月〇日まで有効 ←	
福岡県知事 〇〇 〇〇	
交付年月日 平成〇年〇月〇日	
発行番号 第〇〇〇〇〇〇〇〇〇号	

有効期限内であることが必要です。
残日数が2か月未満のときは誓約書(下記3)が必要です。

(注意)

1. 専任の宅地建物取引士についてのみ必要です。専任の宅地建物取引士以外の宅地建物取引士については必要ありません。
2. 専任の宅地建物取引士を2名以上設置している場合、必要数コピーしてください。
3. 現在お持ちの宅地建物取引士証の有効期間が残り少ない場合には(2か月)、「誓約書(年 月 日に宅地建物取引士証の講習を受け、更新した宅地建物取引士証のコピーを後日提出する旨の代表者の証明)」を添付してください。
「誓約書」の様式は、問いません。

添 付 書 類 (10)

代表者の住民票抄本 (原本)

氏名漢字の表記は記入氏名と一致する必要があります。
住所地は略歴書と一致する必要があります。
発行年月日が3か月以内である必要があります。
“住民票コード”や“個人番号”の記載されていないものを提出してください
貼り付けは不要です。そのまま提出してください。

(注意)

1. 代表者の住民票の抄本は、個人申請の場合のみ必要です (申請者が法人の場合は不要)。
(注) 本籍地の記載は不要です。
2. 住民票の抄本は、申請前3か月以内に市区町村長が発行したものに限りです。

添付書類

身分証明書(原本)

及び

登記されていないことの証明書(原本) 又は 医師の診断書(原本)

氏名漢字の表記は記入氏名と一致する必要があります。
(旧字体等で常用漢字を使用する場合は任意の様式で理由書を提出してください。)
外国籍の方は、身分証明書かわりに住民票(国籍等並びに在留カードに記載の在留資格、在留期間、在留期間満了の日及び在留カードの番号又は特別永住者証明書に記載の特別永住者証明書の番号の記載のあるもの)を添付してください。

貼り付けは不要です。そのまま提出してください。

【福岡県内の取扱窓口】

福岡市中央区舞鶴3-5-25 福岡法務局本局1階

福岡法務局戸籍課 092-721-9334

※管轄はないため、住所・本籍に関係なく証明書交付可能です。

(注意)

1. 身分証明書(身元証明書)とは、本籍地の市区町村長が発行する「成年被後見人及び被保佐人とみなされる者でない」(禁治産者・準禁治産者の宣告の通知を受けていないと表示されている。)及び「破産者に該当しない」という証明です。

登記されていないことの証明書とは、各地方方法務局が発行したもので、「成年被後見人・被保佐人とする記録がない」ことの証明です。(全国の法務局・地方方法務局の本局戸籍課窓口へ申請することができます。)

医師の診断書の内容について

医師の診断書には、契約の締結及びその履行にあたり必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができる能力を有する旨を記載したものとし、その根拠について記載してください。

(根拠として記載する事項の例)

A 医学的診断

- ・診断名
- ・所見(現病歴、現在症、重症度、現在の精神状態と関連する既往症・合併症など)
- ・各種検査結果(認知機能検査等)
- ・短期間に回復する可能性

B 判断能力についての意見

- ・見当識の障害有無
- ・他人との意思疎通の障害の有無
- ・理解力・判断力の障害の有無
- ・記憶力の障害の有無

C 参考となる事項(本人の心身の状態、日常的・社会的な生活状況)

D その他県が必要と認める事項

2. 全て、申請前3か月以内に発行したものに限りです。

3. この添付書類を必要とする者は、下記のとおりです。

(1) 個人免許申請の場合

- ①代表者 ②専任の宅地建物取引士 ③政令で定める使用人(支店長等)

(注意) 上記に該当しない従業者は必要ありません。

(2) 法人免許申請の場合

- ①代表取締役 ②取締役 ③監査役 ④専任の宅地建物取引士 ⑤政令で定める使用人(支店長等)

- ⑥相談役・顧問 ⑦業務を執行する社員(合名会社の場合) ⑧会計参与

(注意) 上記に該当しない従業者・大株主は必要ありません。

添付書類 (12)

貸借対照表及び損益計算書

(注意)

1. 法人免許申請の場合のみ、申請直前1期の事業年度分を添付してください。
個人免許申請の場合は、必要ありません。
2. 新規免許申請で、法人を設立して未だ第1期の決算が終了していない場合は、「開始時の貸借対照表」を添付してください。

決算期が到来している場合には、更新免許申請・新規免許申請の区別なく、貸借対照表及び損益計算書の添付が必要です。
また、損益計算書には『販売費及び一般管理費』の記載があるか、確認してください。

新規免許申請の場合で、法人を設立してまだ1度も決算期を迎えていない場合には、この書式を自作して添付してください。

見 本
(A4)

開始貸借対照表

平成29年6月1日現在

資 産		負債・資本	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金	10,000,000円	資本金	10,000,000円
合 計	10,000,000円	合 計	10,000,000円

上記のとおり相違ありません。

平成30年4月1日

所在地 福岡市博多区東公園7番7号
商号(名称) 福岡不動産株式会社
代表者氏名 代表取締役 福岡 太郎

・役職名も記入してください。

添付書類 (13)

納税証明書 (原本)

(注意)

1. 納税証明書とは、申請者の管轄税務署長が証明した書面（下掲の「納税証明書その1」）です。県及び市町村長発行の証明書ではありません。
2. 個人申請の場合は、申請直前1年分の所得税について証明したものです。
法人申請の場合は、申請直前1年分の事業年度における法人税について証明したものです。
3. 個人の新規申請で、申請者が給与所得者であった場合は、直前1年分の源泉徴収票のコピーを添付してください。
4. 法人の新規申請で、新規設立法人の場合は、納税証明書は必要ありません。
5. 税金の未納税額がある場合は、税務署と協議した納税計画書（様式は問いません）を添付してください。

(様式例)

納税証明書					
(その1) 納税額等証明用					
住所 (納税地)	福岡市東区箱崎1丁目18番1号 カスヤ・ソーゴ				税務署に証明書の交付申請をする際、証明書の種類は「その1」を選択してください。
氏名 (名称)	福岡県不動産株式会社				
代表者氏名	福岡 太郎				
税目	法人税	税目は、法人業者は「法人税」、個人免許業者は「申告所得税」を選択してください。			
年度及び区分	納付すべき税額		納付済額	未納税額	法定納期限等
	申告額	更生・決定後の額			
(自) 平成27年6月1日 (至) 平成28年5月31日 本税	¥123,000	*****	¥123,000	¥0	*****
	↑		↑		
「申告額」及び「納付済額」が記載されていること（具体的な額又は0）。 「無」の場合は、税務署に申告した上で、納税証明書を取り直してください。					
(備考) ○証明書発行日現在の納付すべき税額は上記のとおりですが、今後、修正申告又は税務署若しくは国税局（国税事務所）の調査による更正等により異動を生じる場合があります。					
証明書の発行日付。この日付が3ヶ月以内のものを添付してください。					
第 号 年 月 日 税務署長					

納税証明書その1

添 付 書 類 (14)

法人登記事項証明書

履歴事項全部証明書		
福岡市東区箱崎一丁目18番1号 福岡不動産株式会社		
会社法人番号	〇〇〇〇—〇〇—〇〇〇〇〇〇	
商 号	福岡不動産株式会社	
本店	福岡市東区箱崎一丁目18番1号	
広告をする方法	…	
会社成立の年月日	平成〇年〇月〇日	
目的	1 不動産の売買、賃貸及びその仲介、媒介、管理並びに不動産の売買、賃貸の代理 2 …	
発行可能株式総数	〇〇株	
発行済株式の総数並びに種類及び数	…	
資本金の額	金〇〇万円	
株式の譲渡制限に関する規定	…	
役員に関する事項	取締役 福岡 太郎	平成〇年〇月〇日就任
	取締役 福岡 一郎	平成〇年〇月〇日就任
		平成〇年〇月〇日退任
	代表取締役 福岡 太郎	平成〇年〇月〇日就任
登記記録に関する事項	設立 平成〇年〇月〇日	
これは登記簿に記載されている閉鎖されていない事項の全部であることを証明した書面である。 平成〇年〇月〇日 福岡法務局 登記官		

申請書記載と一致する必要があります。

申請書記載と一致する必要があります。本店所在地は登記上と一致する必要があります。

宅地建物取引業、又は相当な目的が明記されている必要があります。なければ追加が必要です。

申請書記載と一致する必要があります。

申請書記載と一致する必要があります。不一致の場合、修正又は変更届が必要です。

証明書の発行。この日付が3ヶ月以内のものを添付してください。

(注意)

1. 法人申請の場合のみ、添付してください。
2. 法人登記事項証明書（履歴事項全部証明書）は、申請前3か月以内に法務局が発行したものに限り
ます。

添付書類 (15)

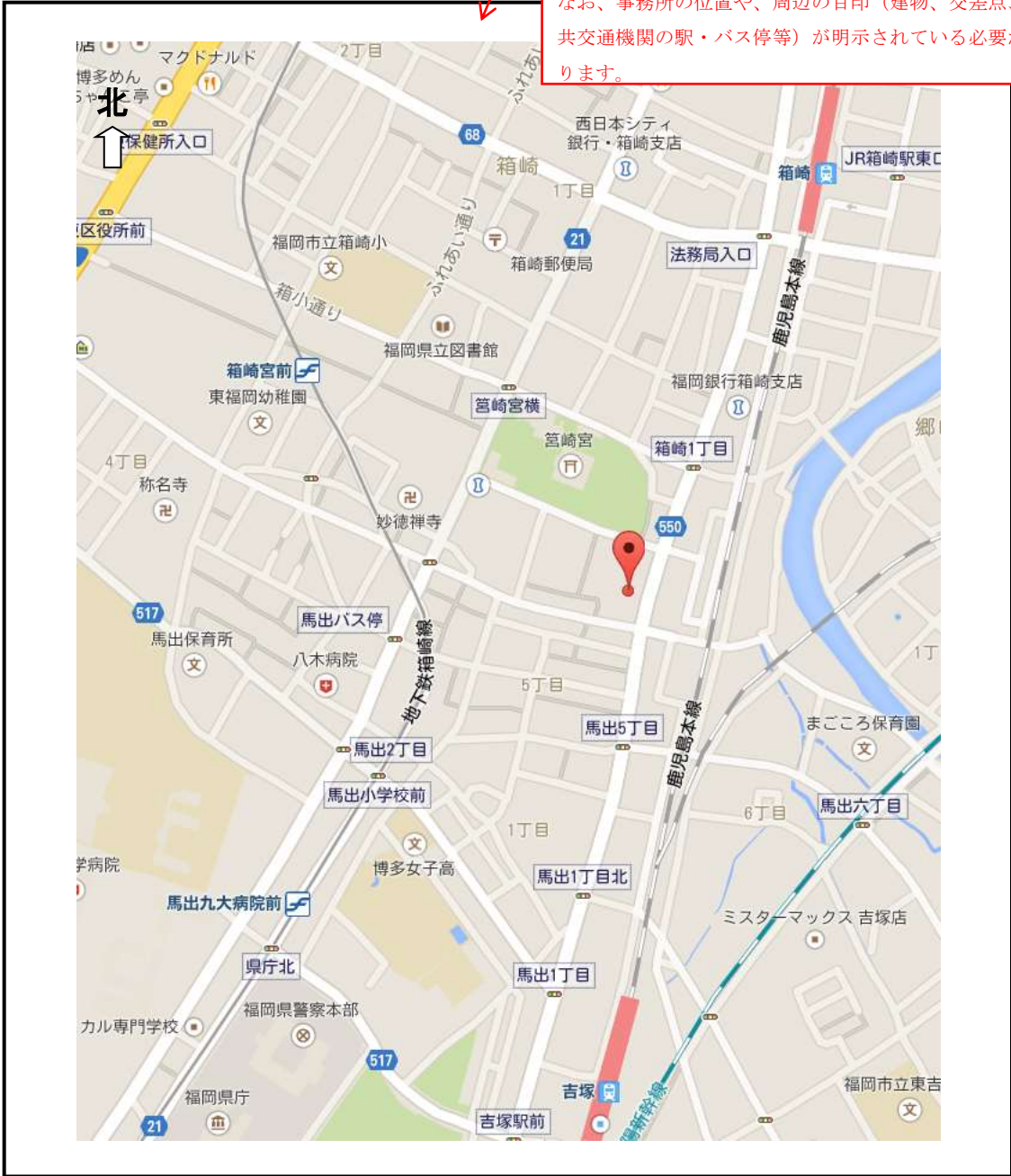
本店

事務所ごとに記入してください。
主たる事務所は「本店」と記入してください。

事務所付近の地図

事務所が複数ある場合には、事務所ごとに作成してください。

電子地図、住宅地図等の貼付でも可です。
なお、事務所の位置や、周辺の目印（建物、交差点、公共交通機関の駅・バス停等）が明示されている必要があります。



事務所所在地（ビル名・マンション名・部屋番号まで記入してください。）
福岡市東区箱崎1丁目18番1号 カスヤ・ソーゴビル301号室

ビルの1室等の場合は、ビル名・階層・号室まで記載してください。

(注意)

1. 事務所付近の地図は、事務所の所在地は記入し、最寄りの駅（JR、バス、地下鉄等）から事務所までの道順を記入してください。途中の目印・目標となる建物等を記入してください。
2. 事務所がビル・マンションの場合、ビル名・マンション名・部屋番号まで記入してください。

添付書類 (16)

事務所の名称 (本店)



事務所ごとに記入してください。
主たる事務所は「本店」と記入してください。

事務所の写真

本店以外に支店・営業所等がある場合、事務所ごとの写真が必要になりますので、必要数コピーしてください。

- ・写真全般として、ポラロイド写真は不可です。
- ・フィルムカメラかデジタルカメラで写したものを添付してください。
- ・なお、デジタルカメラの場合、解像度や明度を調整して、鮮明な画像を添付してください。
- ・また、デジタルカメラの場合、写真1枚のサイズやプリントの仕方は、できればA4判(申請書の大きさ)に上下に2枚が表示されるようにプリントしてください。

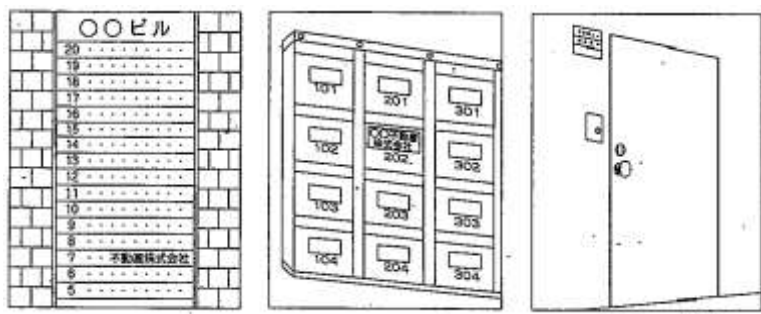
(例)



建物 (マンション・ビル)
全体を写した写真

- ・建物全体の写真は、事務所の入居している建物全体の外観を写してください。
- ・また、建物の入口がどの位置にあるのか、隣接してどのような建物があるのか、判るように工夫してください。
- ・なお、建物入口の映像が小さくて不鮮明な場合には、別途、建物入口の写真の提出をお願いすることがあります。

(例)



事務所入口の写真
(ビル・マンションの場合)
事務所入口のドア

- ・テナントビルやマンションの一室が事務所という場合に、その部屋の入口、テナント表示(無ければ郵便ポスト)の写真を添付してください。
- ・なお、部屋の入口全体が映るように撮影してください。
- ・また、名札など、その部屋を特定する表示が掲げられている場合には、その名札なども映るように撮影してください。
- ・なお、場合によっては、部屋の入口に至るまでの間(通路等)の写真の提出をお願いする場合があります。

添 付 書 類 (16)

事務所の名称 (本店)

事務所ごとに記入してください。
主たる事務所は「本店」と記入してください。

事務所の写真

本店以外に支店・営業所等がある場合、事務所ごとの写真が必要になりますので、必要数コピーしてください。

事務所内部の写真

事務機、電話機等が確認でき、事務所内部全体の分かる写真を添付してください。事務所は、独立性が保たれる必要があり、同一フロアに2社以上の会社が事務所を共用している場合、「平面図」(様式は問いません)とパーティション等の固定した間仕切り・表示等が分かる写真を添付してください。

(例)



- ・事務所には、社会通念として事務所と認識される程度の設備を備えている必要があります。事務機、応接設備、電話等の通信設備の外、近年ではパソコン、コピー、ファクシミリ等もよく見る設備です。
- ・反面、事務設備ではないものや、宅建業の事務には不要と思われるものがある場合には、事務所の独立性を保つ観点から、詳細な使用状況をお尋ねすることがあります。(家財道具、仏壇、宅建業以外の商品、商品の販売スペース)

免許更新、変更届の場合、下記の写真を添付してください。

- ・「宅地建物取引業者票」
(注意) 免許証・会員証ではありません。
- ・「報酬額についての建設省告示」
(注意) 印紙手数料・委任報酬ではありません。

・業者票や報酬額表は文字や数字がはっきり確認できるぐらいの大きさにしてください。

(例)

宅地建物取引業者票	
免許証番号	
免許有効期間	平成○年○月○日から ○年○月○日まで
番号又は名称	株式会社
代表者氏名	
この申請書に記載されている委任の職員の氏名	
主たる事務所の所在地	

- ・新規免許申請であっても、免許換えの申請の場合には、業者票及び報酬額告示の掲示の状況を確認するために写真を添付してください。
- ・反面、更新申請をせず、失期したために新規申請をする場合には、宅建業に係る掲示物は取り外していただく必要がありますので、写真に掲示物が認められる場合には、写真は取り直していただきます。

添 付 書 類 (17)

営業保証金供託書等の写し (更新申請のみ)

・新規、更新申請を問わず、この様式は添付してください。

貼 付 欄

・社員資格証明書 (原本)

(注意)

保証協会に加入している場合に貼付してください。

申請書の内容と社員資格証明書の内容 (商号・名称、代表者氏名、事務所所在地) が異なる場合、保証協会にその旨を届け出る必要があります。

・営業保証金供託書の写し

(注意)

保証協会に加入せずに、営業保証金を供託している場合に貼付してください。